

写真で見る旭区の移り変わり

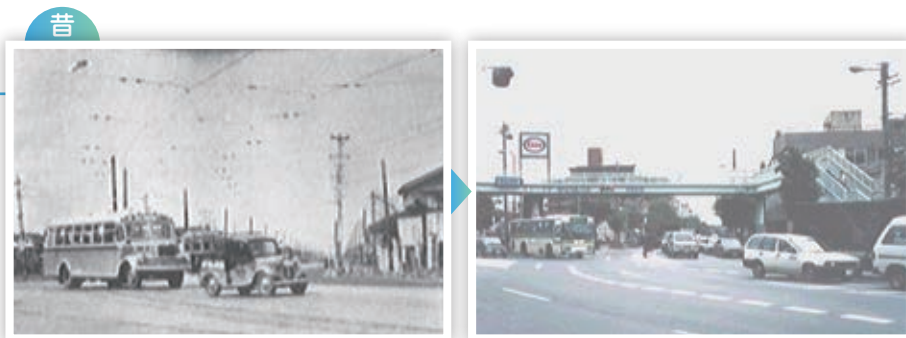
清水小学校周辺

昭和34年(1959)の清水小学校周辺を上空から写したものである。当時は、大阪内環状線は舗装されておらず、学校周辺には田や畑などが広がっていた。



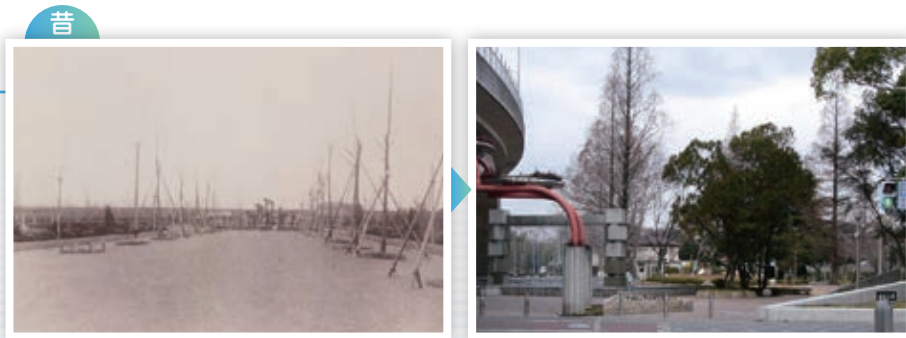
今市交差点

昭和20年代に国道1号と城北公園通が交わる今市交差点を写したものである。当時の主要交通機関は、路面電車やボンネットバスであった。



城北公園正面

昭和10年頃の城北公園の正面の写真である。この頃は公園の樹木が小さいために今よりも見晴らしがよく、広々としていた。

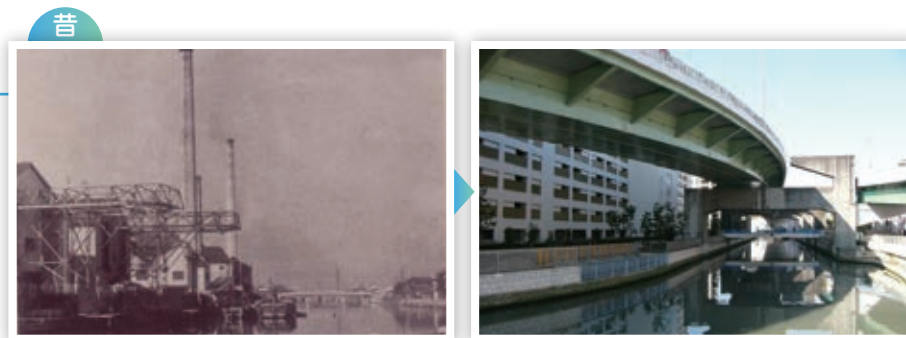


今市商店街

昭和20年代の今市商店街を写したものである。当時も買い物客でにぎわっていた。この頃はアーケードもなく、青空が見えていた。

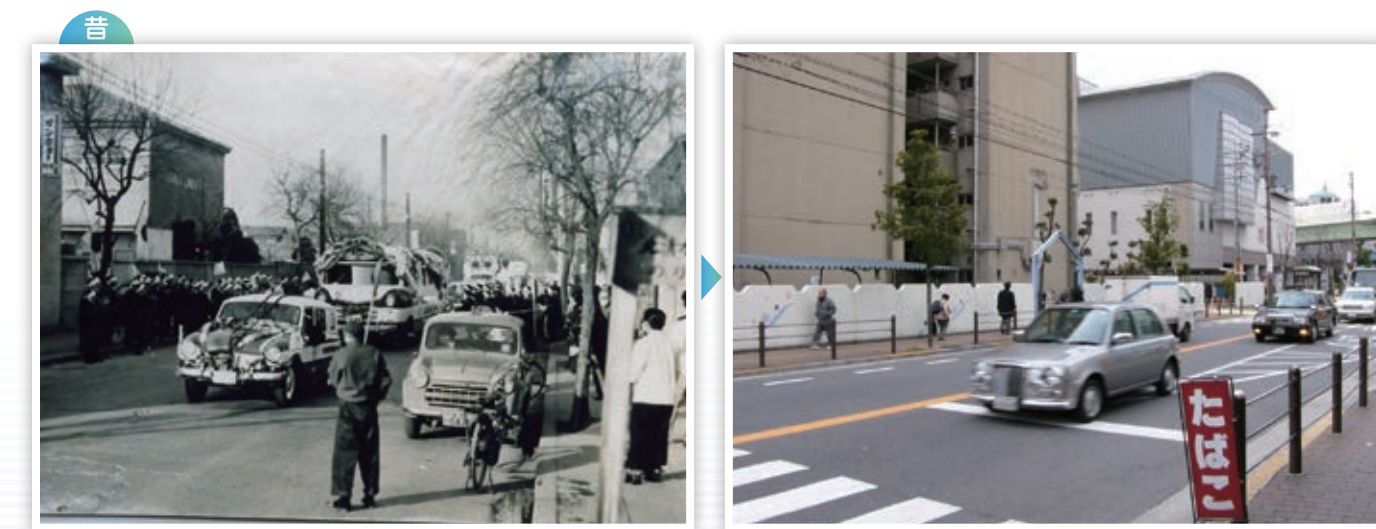
新森1丁目

昭和20年代の新森1丁目周辺を葦橋から写したものである。当時、城北川周辺にはこの写真に写っているような工場が多く、製品や原材料の輸送には城北川を利用していた。



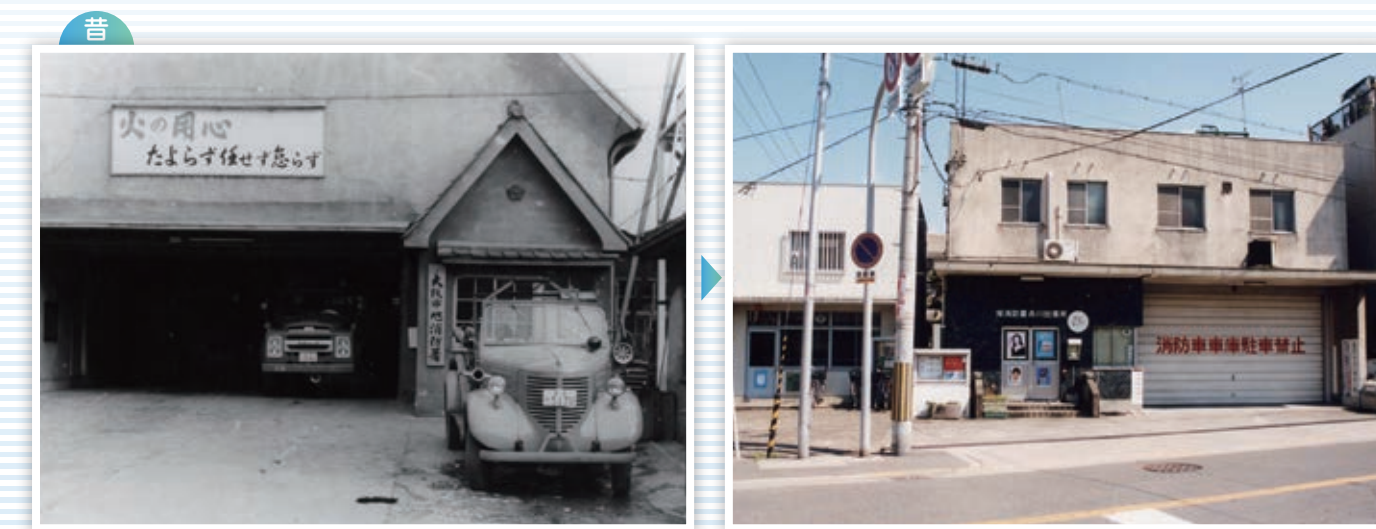
国道1号

昭和10年代の国道1号を大宮1丁目交差点から北へ向かって写したものである。車の通行量は少なく大半が自転車であった。



柳通り

昭和30年代頃に現在の旭消防署前交差点から西側を写したものである。当時の交差点南西には音楽関係で知られた音響があり、テレビ・電気蓄音機などを製作していた。また、音響の西隣に関西染工場という布地を染める会社があった。



旭消防署(赤川出張所)

昭和30年代に赤川2丁目にあった旭消防署の写真である。現在では見かけることが珍しくなった火の見櫓が建っていて、署員が四方八方の火災の発見に努めていた。